

国内で生産される JAS 構造用集成材の

排出原単位構築

報告書の補足説明

JAS 構造用集成材の断面サイズ別（大・中・小）、使用環境別（A・B・C）による9区分のGHG排出量の代表性については、報告書 p. 9（下図の左は全乾質量配分、右は価格配分）にあるとおり、国内における JAS 格付量の 50%以上の製品のインベントリが行えた区分（代表性があると宣言しても問題ない）が3つあるものの、それ以外は代表性があるとは言えない結果になっています。提供データが3社に満たなかった区分については、結果の開示も出来ません。

報告書 p. 9 以降には、使用環境は混在していますが、断面サイズのみで見た場合の分析結果を掲載しています。そのうち、中断面と小断面については評価量が50%以上となっており、代表性があると言える結果になっていることを補足いたします。

質量配分		使用環境		
		A	B	C
断面	大	199		
	中	142		143
	小	134	79	110

価格配分		使用環境		
		A	B	C
断面	大	356		
	中	216		221
	小	183	147	173

単位：kg-CO₂eq/m³

■	評価量が50%以上
■	評価量が40~49%
■	評価量が39%以下
■	提供データが2社以下

令和6年4月
日本集成材工業協同組合